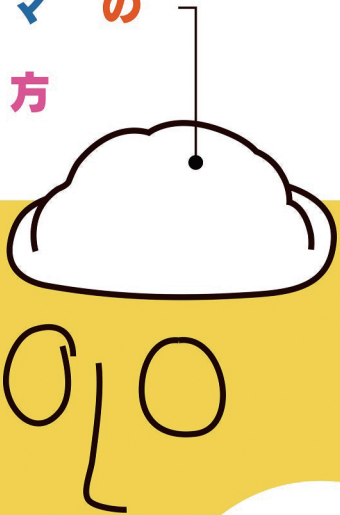
江戸川大学
現代社会フォーラム

日本の未来をデザインするローカル

あたらしいアタマの使い方



現代社会学科では、国土交通省の「国土のグランドデザイン2050」の課題に、目指すべき地域の姿として、資源の再発見からデザインの力で地方創生している現場の実践から、夢のある日本の未来を見出したいと、フォーラムを行います。来年12月、日本観光研究学会の全国大会を本学で開催が決定。2020年の東京オリンピックを見据え、「日本人の美意識は観光資源」をテーマに、日本の地域とデザインから継続的な地域活性化の実現をこれからも議論していきます。

1. 基調講演

梅原 真氏 梅原デザイン事務所 主宰

『あたらしいアタマ』

2. パネルディスカッション

『日本の未来をデザインするローカル』

パネリスト
梅原 真 氏（同上）
市来 広一郎 氏（NPO 法人 atamista 代表理事）
船橋 慶延 氏（企業組合八幡平地熱活用プロジェクト代表取締役）
神田 太郎 氏（NPO 法人尾道空き家再生プロジェクト）
清野 隆（江戸川大学講師）
コーディネーター
鈴木輝隆（江戸川大学特任教授）

主催・後援
主催：江戸川大学社会学部現代社会学科、駒木学習センター、駒木会
後援：国土交通省、千葉県

2015
11月3日 文化の日 火
13:00 ⟹ 16:30 参加費無料

会場 江戸川大学
B棟1階 メモリアルホール

アクセス 千葉県流山市駒木474
つくばエクスプレスまたは東武アーバンパークライン流山おおたかの森駅から無料スクールバスで6分